

環境経営レポート



対象期間 2024年4月1日～2025年3月31日
発行日 2025年 7月 1日

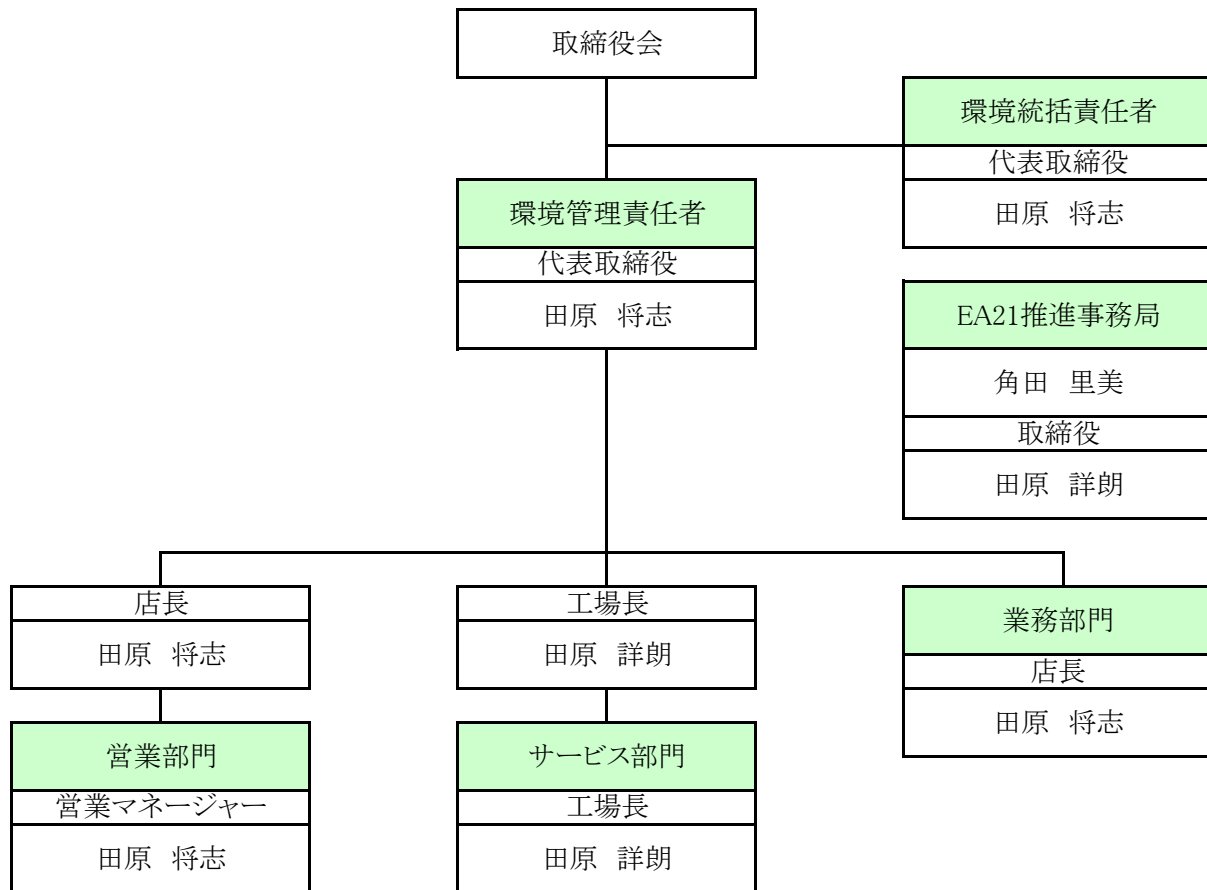
株式会社マツダオートザム島根大田

1 組織の概要 2 対象の範囲



事業者名及び代表者		所在地											
株式会社マツダオートザム島根大田 (マツダオートザム大田 田原自動車) 代表取締役 田原 将志		〒 694-0052 島根県大田市久手町刺鹿1910-1											
事業内容		事業の規模											
新車・中古自動車販売 自動車整備(車検・点検・修理) 損害保険の販売(自動車、火災、傷害) 生命保険の販売 自動車レンタル、リース		<table border="1"> <tr> <td>従業員数</td> <td>9 名</td> </tr> <tr> <td>社屋床面積</td> <td>435.1 m²</td> </tr> <tr> <td>新車販売台数</td> <td>※ 78 台</td> </tr> <tr> <td>中古車販売台数</td> <td>※ 96 台</td> </tr> <tr> <td>年間整備入庫台数</td> <td>※ 2,829 台</td> </tr> </table> ※は2024年度実績		従業員数	9 名	社屋床面積	435.1 m ²	新車販売台数	※ 78 台	中古車販売台数	※ 96 台	年間整備入庫台数	※ 2,829 台
従業員数	9 名												
社屋床面積	435.1 m ²												
新車販売台数	※ 78 台												
中古車販売台数	※ 96 台												
年間整備入庫台数	※ 2,829 台												
環境管理責任者及び担当者													
環境管理責任者	代表取締役社長	田原 将志											
EA21環境推進事務局	サービス工場担当	田原 詳朗											
	ショールーム担当	角田 里美											
連絡先	TEL	: 0854-82-5688											
	FAX	: 0854-82-0337											
	URL	: http://www.maz-oda.com/											
	e-mai	: maz-oda@mazda-autozam.jp											





担当者	役割、責任及び権限
環境統括責任者 <会長>	環境マネジメントシステム(以下EMS)に関する統括責任者 <ul style="list-style-type: none"> ・ EMSの実施及び運用に必要な人・設備・費用・時間を用意 ・ 環境管理責任者の任命 ・ 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・ 環境目標の設定を承認 ・ 代表者による全体の評価と見直しを実施 ・ 環境活動レポートの承認
環境管理責任者 <役員・営業・業務/ サービス部門長>	実務上の責任者として、全社の環境取り組みを推進する (※代表者は、環境活動の実務に関して全部門に対する指揮命令権限を委譲) <ul style="list-style-type: none"> ・ EMSの構築、実施、管理 ・ 環境活動計画書、環境関連法令取りまとめリスト等の承認 ・ 環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・ 環境活動レポートの確認
EA21推進事務局	環境管理責任者をサポートし、EA21推進事務局として全社の環境取組を推進する <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境取り組みの指導・支援 ・ 環境データの集計・取りまとめ
部門長	全社の環境取り組みを推進する <ul style="list-style-type: none"> ・ 担当部門の環境取り組みの責任者
全社員	積極的にEA21活動に参加する

基本理念

Vision 私たちはお客様に安心、快適な移動空間を提供します。

Mission お車に係わる最適な商品の販売、確実なサービスを通じ、お客様の期待を上回る感動を与え続けます。

Value お客様第一主義をモットーに創造性を持って誠実な仕事を遂行します。効率、生産性を上げ、地元経済に貢献します。地域の豊かな自然、文化を尊重し、地域環境の保全と持続可能な社会の実現に貢献します。

行動指針

当社における事業活動と経営における課題とチャンスをつまみ、以下の通り行動指針を定めます。

- 1 環境に関する法規制を遵守します。
- 2 限りある資源を大切にすため、省資源・省エネルギーに努めます。
- 3 使用済み自動車の適正処理、リサイクルを推進します。
- 4 循環型社会に向けて、廃棄物の削減・再生利用活動を推進します。
- 5 環境経営方針を定め、継続的な環境改善活動を実践します。
- 6 環境に配慮した車両の販売及びサービスの提供をします。
- 7 全従業員にこの環境経営方針を周知徹底するとともに、環境経営レポートを作成し、公表します。

制定 2011年 4月 1日

改定 2023年 4月 1日

株式会社マツダオートザム島根大田
代表取締役 田原 将志

4 環境経営目標



＜マツダオートザム大田の環境経営目標と取り組み方針＞

自動車を扱う企業の責任として、「電気使用量」「自動車燃料使用量」を削減し、「SKYACTV搭載機種」「ECOオイル」の拡販を行い、環境に負荷をかけない企業を目指す。

1. 環境負荷等の現状

環境への負荷等		単位	2021年度 (2021/4~2022/3)	2022年度 (2022/4~2023/3)	2023年度 (2023/4~2024/3)
二酸化炭素排出量	二酸化炭素(総量)	kg-CO ₂	36,595	36,291	33,574
廃棄物排出量	一般廃棄物	kg	183	2,227	2,379
	産業廃棄物	kg	7,549	11,250	9,664
水使用量	上水	m ³	383	337	272
製品およびサービスにおける環境配慮	SKYACTIV販売台数	台	39	51	39
	ECOオイル在庫台数	台	741	795	805

2. 環境経営目標(中期)

当社は毎年、以下の項目について削減目標を掲げ、環境改善活動を推進します。

環境経営目標項目		単位	基準値 (2023年度)	目標		
				2024年度	2025年度	2026年度
二酸化炭素排出量の削減	総量	kg-CO ₂	33,574	33,238	32,903	32,567
	購入電力	kg-CO ₂	16,819	16,651	16,483	16,314
			削減率	▲1.0%	▲2.0%	▲3.0%
自動車燃料	自動車燃料	kg-CO ₂	16,456	16,291	16,127	15,962
			削減率	▲1.0%	▲2.0%	▲3.0%
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物	kg	2,379	2,355	2,331	2,308
			削減率	▲1.0%	▲2.0%	▲3.0%
産業廃棄物	産業廃棄物	kg	9,664	9,567	9,471	9,374
			削減率	▲1.0%	▲2.0%	▲3.0%
水使用量の削減	上水	m ³	272	269	267	264
			削減率	▲1.0%	▲2.0%	▲3.0%
製品およびサービスにおける環境配慮	SKYACTIV販売台数	台	39	43	47	51
			増加率	10%	20%	30%
	ECOオイル在庫台数	台	805	845	886	926
			増加率	5%	10%	15%
ECOバッテリー販売台数	ECOバッテリー販売台数	台	131	144	157	170
			増加率	10%	20%	30%
ECOタイヤ販売台数	ECOタイヤ販売台数	本	257	270	283	296
			増加率	5%	10%	15%

※購入電力の二酸化炭素調整後排出係数(中国電力 令和元年度):0.000585t-CO₂/kWh

※トルエン、キシレンの使用はあるがスプレー缶であり、使用量も少量であるため適正な管理をすることで環境経営目標、環境経営計画とする。具体的にはトルエン、キシレン等のSDS(安全データシート)を現場に添付して作業員はその内容を周知徹底する。さらに対象物の使用量等を把握して適正な管理をする。

※「SKYACTIV」はマツダ(株)が生産する低燃費エンジンを搭載した車両

5 環境経営計画



2024/04～2025/03

<p>■二酸化炭素排出量(購入電力)削減</p> <p>①電気メーターの確認・記録 1回/月の電気メーターの確認して社員に公表する【田原弘】</p> <p>②サービス工場 昼休み消灯の励行 週5日以上の消灯確認を行う【渡辺】</p> <p>③ショールーム、事務所の適正な温度管理 2回/日の確認を行う【岩崎】</p> <p>④ロールカーテンの適正使用 2回/日の確認を行う【岩崎】</p>	
<p>■二酸化炭素排出量(化石燃料使用量)削減</p> <p>①燃料代の確認・記録 1回/月燃料使用量を集計し社員に公表する【角田】</p> <p>②代車誓約書にサインを頂くという啓発をおこなう 誓約書のサインいただく(目標70%以上)【田原将】</p> <p>③代車記録簿適正運用の啓発 記録簿の記載100%を行う(目標80%以上)【田原将】</p> <p>④社内ECOドライブの啓発 年1回の安全教育 月1回のECOドライブの啓発を行なう【田原将】</p>	
<p>■廃棄物排出量(一般廃棄物)削減</p> <p>①紙廃棄量の確認・記録 1回/月紙廃棄量数の確認し社員に公表する【田原将】</p> <p>②コピー使用枚数の削減・記録 1回/月コピー使用枚数の啓示を行い数量の記録を行う【田原弘】</p> <p>③段ボール置き場の整理・記録 リサイクル業者への連絡引き渡し数量の記録を行う【石橋】</p> <p>④ペットボトルの整理・記録 CS勉強会時1回/月、社員への啓発を行う【田原将】</p>	
<p>リサイクル棟</p>	
<p>■廃棄物排出量(産業廃棄物)削減</p> <p>①産業廃棄物排出量の確認、記録、委託業者の書類管理 1回/月数量の記録、委託業者の確認【角田】</p> <p>②汚泥処理記録 適宜リサイクル業者への連絡、数量の記録を行う【田原将】</p> <p>③金属くずの管理、記録 適宜リサイクル業者への連絡、数量の記録を行う【渡辺】</p> <p>④廃タイヤの適正管理、記録 適宜リサイクル業者への連絡、数量の記録を行う【田原詳】</p> <p>⑤廃プラの管理記録 適宜リサイクル業者への持込、数量の記録、減量の啓発【田原将】</p>	
<p>廃タイヤ保管庫</p>	
<p>■水使用量削減</p> <p>①水使用量の確認・記録 1回/月数量の記録【田原将】</p> <p>②全般的な節水活動 1回/月節水の啓発を行う。【田原将】</p>	
<p>■製品およびサービスにおける環境配慮</p> <p>①SKYACTIV車の販売促進 1回/月 登録台数の確認をする【岩崎】</p> <p>②ECOタイヤ販売拡販 ECOタイヤ販売の研修1回/年 毎月の数量確認、販売啓発【田原詳】</p> <p>③ECOバッテリー販売拡販 数量把握、車検事前見積もりでの5年超100%提示(見積提示)【渡辺】</p> <p>④ECOオイルの販売拡販 勉強会の実施 1回/年 販売啓発および販売数の確認【岩崎】</p>	

1. 環境経営目標の達成状況

実施期間(2024年04月～2025年03月)の環境実績は次の通り

環境経営目標項目	単位	2023年度実績	期間中の目標値	実績				
				2024年度	目標達成率%	前年比	評価	
二酸化炭素排出量の削減	総量	kg-CO ₂	33,574	33,238	31,704	104.8%	94.4%	G
	購入電力	kg-CO ₂	16,819	16,651	17,489	95.2%	104.0%	Y
	自動車燃料	kg-CO ₂	16,456	16,291	14,115	115.4%	85.8%	G
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物	kg	2,379	2,355	616	382.3%	25.9%	G
	産業廃棄物	kg	9,664	9,567	10,884	87.9%	112.6%	R
水使用量の削減	上水	m ³	272	269	277	97.2%	101.8%	Y
部品およびサービスにおける環境配慮	SKYACTIV販売台数	台	39	43	33	76.9%	84.6%	R
	ECOオイル在庫台数	台	805	845	730	86.4%	90.7%	R
	ECOバッテリー販売台数	台	131	144	152	105.5%	116.0%	G
	ECOタイヤ販売本数	本	257	270	144	53.4%	56.0%	R

評価・・・二酸化炭素排出量の多くの割合を占める自動車燃料使用で目標、前年ともに過達(目標達成率115.4%)

全体のCO₂排出量も目標、前年ともに達成(目標達成率104.2%)※購入電力の二酸化炭素排出係数(中国電力 令和元年度):0.000585t-CO₂/kWh

※達成状況欄の「G」は目標達成率100%、「Y」は目標達成率90%以上、「R」は目標達成率90%未満を示します。

※2024年度二酸化炭素排出総量(=購入電力+自動車燃料+灯油)は31614.12kg-CO₂である。

2. 環境経営計画の取組結果と評価、次年度の環境経営目標及び環境経営計画

■1-二酸化炭素排出量の削減	
①購入電力使用量	目標達成率 95.2%/前年比 104.0%
評価	次年度の環境経営目標及び環境経営計画
Y <ul style="list-style-type: none"> ◆ サービス工場 昼休み消灯の励行 主に昼休み不要な照明の消灯、終業後の不要な照明の消灯の確認 週5日以上を年間10か月で達成した ◆ ショールーム事務所の適正な温度管理(冷房28℃程度、暖房20℃程度) 2回/日以上の確認し、適正な温度を維持できた。冷房の稼働日数は電気代から推測して増えていると思われます ◆ ショールーム、ロールカーテンの適正利用 夏季1回/日の確認を行った、特に西日の差し込む夏至前後はショールームの視認性も考慮し日に何度かの確認を行っている 	サービス工場については引き続き消灯確認を行い、スポットクーラーの確認もお願いします 12月の電気代も増えています、冬季の適正な温度管理にも努めてください ショールームのロールカーテンを適切に利用することは室温上昇を抑えるのに寄与しますので引き続き宜しくお願いします
②自動車燃料使用量	目標達成率 115.4%/前年比 85.8%
G <ul style="list-style-type: none"> ◆ 代車誓約書の適正運用の啓発、代車記録簿適正運用の啓発をおこなう 代車の誓約書取得率は前年の60.6%から55.7%と下落した ◆ 社内ECODライブの啓発 ドラポジ研修と合わせて安全運転の研修、1回/年CS勉強会時のECODライブ啓発を行った 	引き続き自動車保険レタカ-特約付帯率を高め代車のレタカ-比率を高めるよう務めてください、ガソリン代も高どまっている為、誓約書取得も宜しくお願いします 引き続き社員使用のガソリン削減もお願いいたします、昨年に続いて目標達成することが出来ました、引き続き宜しくお願いいたします

■2-廃棄物排出量の削減	
①一般廃棄物の削減 目標達成率382.3%/前年比25.9%	
G	<p>◆ コピー使用枚数の削減 コピー削減の啓発を継続的に行い資料の電子化、登録書類電子化等をすすめたが昨年の29195枚→31429枚と7.7%増加した</p> <p>◆ 段ボール置場の整理記録 昨年の2230Kgから530Kgと24%程度まで削減でき、一般廃棄物の総量を大きく削減する事が出来た</p> <p>◆ 空き缶、ペットボトルの管理 昨年の77.5Kgから4.1Kgと大幅な削減が出来た</p>
	<p>電子帳簿保存、登録書類のOSS化を今以上に推進してください</p> <p>引き続き整備部品の運送方法の改善の努力で段ボール削減宜しくお願いします</p> <p>空き缶、ペットボトル削減も一般廃棄物の総量減に貢献しています</p>
②産業廃棄物の削減 目標達成率87.9%/前年比 112.6%	
R	<p>◆ 産業廃棄物排出量の確認、記録、委託業者の書類管理 委託業者との契約書の適正な管理に努めている</p> <p>◆ 汚泥処理記録 汚泥については溜槽の清掃にとどまり廃棄物としての排出の実績なし</p> <p>◆ 金属屑の管理記録 1回/3か月の回収に努めている。</p> <p>◆ 廃タイヤの適正管理 早期回収依頼を心がけている。</p>
	<p>今後も書類の適正管理に努めてください</p> <p>1回/年の分離層清掃を心がけてください</p> <p>記録、リサイクル棟の管理を適切に行ってください</p> <p>廃棄等の管理を含めて宜しくお願いいたします</p>
■3-水使用量の削減 目標達成率 97.2%/前年比 101.8%	
Y	<p>◆ 全般的な節水活動 節水の意識が定着している、時間短縮を図るため洗車に高压洗車機を使用し水使用量が微増</p>
	引き続き水使用減に努めてください
■4-製品およびサービスにおける環境配慮	
①SKYACTIV拡販 目標値達成率76.9%/前年比 84.6%	
R	<p>◆ SKYACTIV車の販売促進 11月に待望の新型車を導入したが、全体を押し上げるには至らなかった</p>
	次年度は主力のモデルチェンジが控えています、試乗、査定の励行お願いいたします
②ECOオイルの拡販 目標達成率 86.4%/前年比 90.7%	
R	<p>◆ ECOオイルの販売促進 在庫台数は昨年の2774台から2829台と2.0%程度増加したが、オイルの総量は90.7%と減少した</p>
	<p>オイル交換チャンスを見逃さない為にパックDEメンテの販売で安定的な販売増に繋げて下さい</p> <p>※パックDEメンテとはメンテナンスパックの名称</p>
③ECOバッテリーの拡販 目標値達成率 105.5%/前年比 116.0%	
G	<p>◆ ECOバッテリーの販売促進 3年振りに販売増に反転した、一番の要因はチェックランプ点滅からの交換が増え、車検見積もり率は昨年の89.4%と同値だった</p>
	車両装備に助けられた感はありますが、引き続き事前見積もり、パックDEメンテ販売に努めてください
④ECOタイヤの拡販 目標値達成率 53.4%/前年比 56.0%	
R	<p>◆ ECOタイヤの販売促進 タイヤ値上げの影響もありで比較的価格の安いECOタイヤ以外のタイヤを選ぶ割合が増え、ECOタイヤが減少した</p>
	車検事前見積もりの徹底と商品説明強化で販売増につなげてください

※環境経営目標の基準は前年度とし、環境経営目標ごとに削減増加率を定める。

8 環境関連法規等の遵守状況及び違反、訴訟の有無



1. 環境関連法規等の遵守状況の評価

環境関連法規	要求事項	評価の結果
廃棄物処理法	廃棄物の適正処理	遵守
自動車リサイクル法	使用済み自動車の適正処理	遵守
浄化槽法	浄化槽設置の届け出 法定点検の実施	遵守
消防法	少量危険物貯蔵取扱所届出	遵守
フロン排出抑制法	簡易点検の実施 記録の保存	遵守

2. 違反、訴訟の有無

環境関連法規制への違反はなく、関係機関からの指摘も受けておりません。
また、訴訟等についても、1件もありませんでした。

9 代表者による全体の評価及び見直し



対象事業所	マツダオートザム大田
活動期間	2024年04月～2025年03月

作成者	田原将志
-----	------

見直し 関連情報	項目	確認	評価・コメント
	1 エコアクション21文書	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	特になし
	2 環境経営目標及び目標達成状況	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	省資源・省エネルギーについてはCO ₂ 排出量を前年から5.0%削減でき活動の成果と思われれます。廃棄物排出量削減も意識の浸透で一般廃棄物を大幅に削減できました。環境に配慮した製品の供給では苦戦がみられますが製品も全般に値上がりの傾向があります。商品知識にもとずいた説明を心がけてください。
	3 環境経営計画及び取組実施状況	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	省資源・省エネルギーについては取り組みの成果が表れたと思います。全般に取り組み担当者に温度差があるのと、担当以外に関心が薄い傾向も見えますので社全体で取り組む雰囲気醸造が重要と考えます
	4 環境関連法令一覧表及び遵守状況	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	すべて遵守されていた。
	5 外部コミュニケーション・対応記録	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	苦情等の事例なし。
	6 問題点の是正・予防措置の実施状況	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	特になし
	7 取引先・業界・関係行政機関その他の外部動向	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	トランプ関税、中国からのレアアース供給不足、中東の戦火等からメーカーでは、生産台数減、各種販売インセンティブ減など、不透明な状況が続くと思われれます。SUVで販売を伸ばしていたマツダも他銘柄の追随を受けて苦戦が続いています。サービスなど車販以外での収益増が求められることとなります。
	8 前回指示事項への取組結果	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	概ね指示は履行されています。

評価者	田原 将志	実施日	2025年6月22日
-----	-------	-----	------------

企業においてコンプライアンスが強く求められる中、エコアクションを通じて学んだPDCAサイクルの業務手順は弊社において物事を進めるにおいて強い力になっていると思います。健康経営優良法人と2本柱でさらなる企業価値の向上のに繋げリクルートや働きやすい職場の確保等、環境にも人にも優しい企業を目指したいと思えます。

代表者による 全体評価・ 見直し	見直し項目	変更の必要性	変更「有」の場合の指示事項
	1 環境経営方針	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	2 環境経営目標	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	3 環境経営計画・取組項目	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	4 実施体制	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	5 その他のシステム要素	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	6 その他(外部への対応)	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	